

| | | | |
|-------------------------|--|---------|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 高齢者福祉論 (2 単位) | | SSMP1101 SNMP1301 SCMP1301 SPMP1301 PSMP1401 |
| 2. 授業担当教員 | 尹 文九 | 3. 科目番号 | |
| 4. 授業形態 | 講義、グループレポート作成と発表、ディスカッション、小テスト | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | |
| 7. 講義概要 | <p>人類の長年の願望だった長寿化社会の実現が先進国のみならず開発途上国でも見られる現象となった。現在日本は、少子高齢化の影響で人口の減少と介護人材の不足が社会問題となっており、社会が健全に発展するためには、少子・高齢社会の的確な現状の把握と問題の本質を理解し、ニーズに基づいた積極的な対応が必要である。</p> <p>本講義では、第1に、人口構造と世帯構成、高齢者の精神的・身体的状態、経済的状态など高齢者を取り巻く環境について理解を深める。第2に、高齢者福祉の発展過程として高齢者福祉制度の萌芽から老人福祉法、現在に至るまでの変化について検討する。第3に、支援が必要な虚弱高齢者、予防高齢者と要介護高齢者の現状、公的サービスの現状と問題点などについて把握する。第4に、介護保険法に規定されている介護に関連する介護予防と各種サービス、ケアマネジメント、終末期ケアなど諸事項に関する法律について、現状と問題点を検討する。最後に、要介護状態になっても住み慣れた地域や選好する場所で生活し続けるためには、どのような政策や実践が必要であるかを地域で調査を実施し、社会に貢献できることを目指す。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口学的特徴とライフサイクルの観点から高齢者の生活実態や世帯構成、経済的状况について理解を深める。 2. 高齢者福祉制度の仕組み、発展過程と課題について理解を深め、今後実現可能な政策とは何かを調査する。 3. 公的介護保険制度の現状と問題点について把握し、要介護高齢者の介護ニーズに適切に対応するために解 決すべき課題を把握する。 4. 高齢者ニーズを満たす方法として、血縁関係のみならず地域ネットワークの在り方についても理解を深め、高齢者が社会参加を積極的にするためには、どのような環境づくりが必要であるか、調べる。 5. 終末期ケアの在り方 (人間観や倫理を含む) について理解し、高齢者が望む場所で最期を迎えるために、必要な政策と地域ネットワークのありがたを理解する。 6. 介護保険制度の仕組みについて理解を深め、介護サービス事業所の現状と問題点を調査し、改善策を把握する。 7. 相談援助活動において、要介護高齢者の人権を守るための成年後見制度など法制度の内容を理解し、成年後見制度が普及しない理由や問題点を把握する。 8. 本科目は、国家試験科目であり、国家試験に通用するレベルまで実力アップを図ることを目指す。 | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | レポート:施設見学や高齢者を対象にインタビューした内容を2000字程度にまとめて提出する | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 杉本敏夫・橋本有里子編、『学びを迫及する高齢者福祉』保育出版社。</p> <p>【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規。 *授業中に適宜資料を配布する。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢社会の理解と高齢者の特徴について理解されているのか 2. 高齢者と関連した法律や制度について理解されているか 3. 介護保険制度 (財政やサービス等) について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への積極的な参加度 (討議や発表など): 40% 2. 課題レポート及び予習ノート: 30% 3. 総括テスト: 30% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。</p> <p>受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。 2) 席は前から男女混合で座ること。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をすること。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしないこと (正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守すること。 6) グループ討議にはメンバー全員が積極的に参加することと他人が発表するときはきちんと傾聴すること。 | | |

| 13. オフィスアワー | 授業中に通知する(時間割表掲載のオフィスアワー欄参照) | | |
|----------------|--|------|--|
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 高齢者のイメージについて | 事前学習 | 学習用ノートを準備し、シラバス・教科書に目を通し、授業に臨むこと |
| | | 事後学習 | 高齢者のイメージについて理解した内容をまとめる |
| 第2回 | 少子高齢化の現状 | 事前学習 | pp. 14-20 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業を通して理解した内容についてまとめる |
| 第3回 | 高齢者の心身の特徴 | 事前学習 | pp. 27-33 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業を通して理解した内容をまとめる |
| 第4回 | 高齢者の社会的な特徴と高齢者を取り巻く諸問題について、家族、健康、介護、経済的問題、生きがい問題など | 事前学習 | 高齢者を取り巻く様々な問題の中から一つを選んでその内容についてまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容についてまとめる |
| 第5回 | 高齢者保健福祉制度の歩み 戦後、日本政府が高齢者のために行なった政策をマクロレベルで検討 | 事前学習 | pp. 58-70 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 第6回 | 高齢者支援関連法(高齢社会対策基本法) | 事前学習 | pp. 82-86 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 第7回 | 高齢者支援関連法 (老人福祉法) | 事前学習 | pp. 86-92 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 老人福祉法について理解した内容をまとめる |
| 第8回 | 高齢者支援関連法 (バリアフリー新法と成年後見制度、医療など) | 事前学習 | pp. 92-97 を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 第9回 | 高齢者支援関連法 (高齢者虐待防止法) | 事前学習 | pp. 223-242 を参考にし、その中で虐待の事例を調査し、まとめる |
| | | 事後学習 | 虐待発見時の対応プロセスについてまとめる |
| 第10回 | 介護保険法 介護保険制度の全体像、制度成立の背景、理念、目的など | 事前学習 | pp. 102-115 を参考にし、その内容をまとめる |
| | | 事後学習 | 介護保険制度の社会的な意義についてノートにまとめる |
| 第11回 | 施設見学あるいは高齢者へのインタビュー | 事前学習 | 事前に見学予定の施設を調べ、施設の概要をまとめる |
| | | 事後学習 | それぞれについてレポートとしてまとめて提出する |
| 第12回 | レポートの発表 | 事前学習 | レポートの内容を発表のため要約する |
| | | 事後学習 | 発表を通して理解した内容についてまとめる |
| 第13回 | 介護保険法の改正と予防サービス(ビデオ) | 事前学習 | 2005年に改正された内容と介護予防サービスの内容について学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 第14回 | 介護保険法における専門職の役割 | 事前学習 | pp. 142-151 を熟読し、専門職にはどのような職があるのかについて学習用ノートにまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 第15回 | 介護保険法とサービスとまとめ | 事前学習 | 介護保険法から利用できるサービスにはどのようなものがあるかについて調べてまとめる |
| | | 事後学習 | 授業で理解した内容をまとめる |
| 期末試験 | | | |